

カリキュラムマップ

コミュニティ福祉学部の教育目的	
「いのちの尊厳のために(Vitae Dignitati)」という本学部の基本理念に立ち、コミュニティを基盤とした福祉社会構築に貢献できる人材を養成する。	

学修成果	
<p><学部全体></p> <p>◆学部理念・目的の習得</p> <p>1. 「いのちの尊厳のために」(Vitae Dignitati)という本学部の基本理念を理解・説明することができ、実行にむけてさまざまな活動に意欲的に取り組むことができる。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「5.他者を理解する姿勢」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>2. 福祉社会の実現をめざした「福祉コミュニティの形成」に、市民社会の側から、生活者の視点で取り組むという本学部の基本構想・意図が説明でき、その形成に参加・協働できる。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>◆知識・技術の習得</p> <p>1. 福祉コミュニティ形成に貢献できる高度のマネジメント能力、個別ニーズに沿った援助、地域福祉計画や地域組織化および社会調査などの能力を身につける。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「5.他者を理解する姿勢」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>2. 導入教育として実施されている基礎演習をおして、スタディ・スキルを習得し、大学での主体的な学び方を身につける。(「1.リベラルアーツの素養」「3.自己を理解し発展させる力」「6.表現力」と関連)</p> <p>3. キャリア教育やインターンシップにおける企業系、行政系、NPO系、海外系など幅広い分野の就業体験・職場体験をつうじて机上での学びを実践的に理解する。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「5.他者を理解する姿勢」「8.国際性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>4. 完成期に配置されている演習科目等をおして独自の研究能力を高め、学修成果を他者に発信することができる。(「2.専門性」「5.他者を理解する姿勢」と関連)</p> <p>5. 全学共通科目と専攻分野の科目を統合的に学修することによって、国際感覚を具えた「専門性に立つ教養人」を育成する。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「8.国際性」と関連)</p>	<p>◆現場に立った実地学習の習熟</p> <p>フィールド型学習(福祉学科：ソーシャルワーク実習、キャリア形成演習、コミュニティ政策学科：コミュニティ学演習、政策学演習、社会調査実習、そして各学科で履修できるインターンシップ)等を通して、現場に立った体験的な学習能力を身につける。(「2.専門性」「4.キャリア展望を確立する力」「6.表現力」「7.リーダーシップ」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>◆実践能力と研究能力の統合</p> <p>人間と社会に関わる総合学であるコミュニティ福祉学において、フィールドに赴いて生身の人々の抱える苦難や困難を想像・感受する力を養い、それらの苦難や困難を克服・解決する上での指針となる理論を習得することができる。(「2.専門性」「3.自己を理解し発展させる力」「5.他者を理解する姿勢」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p><コミュニティ政策学科></p> <p>1) 地域社会の様々な問題や課題を当事者の視点から考え、実証的な社会調査に基づき分析する力を養成する。(「2.専門性」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>2) コミュニティ学演習、政策学演習、社会調査実習、インターンシップ等のフィールド型学習プログラムにより意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策を構想・提案・実践する能力を身につける。(「4.キャリア展望を確立する力」「6.表現力」「9.社会的実践力」と関連)</p> <p>3) 特にコミュニティ学専修では、「コミュニティ基盤領域」「コミュニティ実践領域」の教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「3.自己を理解し発展させる力」と関連)</p> <p>4) 特に政策学専修では、「市民社会領域」「ガバナンス領域」の教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる。(「1.リベラルアーツの素養」「2.専門性」「3.自己を理解し発展させる力」と関連)</p> <p>5) グローバルな視野から社会問題を分析する力を養う。(「5.他者を理解する姿勢」「8.国際性」と関連)</p>

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム			コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)										
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状の課題を当事者の視点から考え、実証的な社会調査に基づき分析する	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策を構想・提案・実践する能力	7) 「コミュニティ学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる	8) 「政策学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる	9) グローバルな視野から社会問題を分析する	
基礎演習(学びの技法を含む)	必修	1	大学での主体的な学び方について考え、準備を行う。基本的学習技術を習得する。学部の特徴や専門性について理解した上で、自分の将来設計を考えることができる。	◎	◎								
コミュニティ政策学入門	必修	1	学科教員の多様な専門分野・アプローチについての基本的な知識を修得し、「コミュニティ政策学」についての理解を深め、自身の問題関心を見つけることができる。	◎	○					△	△	△	
社会調査入門	必修	1	社会調査の意義・背景・方法に関わる基本的知識の習得ができる。	△	◎	△	○	○	○				
コミュニティ学演習1A	必修	3~4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	○	○	◎	◎	○	○	◎			○
コミュニティ学演習1B	必修	3~4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	○	○	◎	◎	○	○	◎			○
政策学演習1A	必修	3~4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	○	○	◎	◎	○	○		◎		
政策学演習1B	必修	3~4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	○	○	◎	◎	○	○		◎		○
講義演習A	必修	3~4	コミュニティ政策学に関わる専門的な文献を講読し、高度な専門的知識の取得とともに、問題関心を深める。	○	◎		○			○	○	○	
講義演習B	必修	3~4	コミュニティ政策学に関わる専門的な文献を講読し、高度な専門的知識の取得とともに、問題関心を深める。	○	◎		○			○	○	○	
社会調査実習	必修	3~4	量的調査・質的調査の意義・知識を学び、その企画・実施・分析の方法を体験的に身につけることができる。		◎	◎	◎	◎	○	○	○	○	
コミュニティ学入門演習	必修	2	「コミュニティ学」を構成する様々な専門領域の入門的な文献を講読し、基礎的な知識を修得するとともに、自身の問題関心を見つけることができる。	◎	◎	△	○			○		△	
政策学入門演習	必修	2	「政策学」を構成する様々な専門領域の入門的な文献を講読し、基礎的な知識を修得するとともに、自身の問題関心を見つけることができる。	◎	◎	△	○				○	△	
統計学入門	スタディスキル	2~4	官庁統計や調査報告書を読み解くための基礎知識、統計データの基本的な分析方法や結果のまとめ方、統計の意義について学び、活用することができる。	△	◎	△	○	◎	○				
リサーチ・デザイン	スタディスキル	1~4	社会調査(量的調査と質的調査)によってデータを収集し、分析できる形で整理する方法に関する基本的知識を習得できる。		◎	△	○	◎	△				
質的リサーチ	スタディスキル	2~4	質的調査法の意義・背景・認識論的枠組み・調査法・分析法についての概要を理解することができる。	○	◎	○	◎	◎	○				
データ分析入門	スタディスキル	2~4	統計データを分析・解釈するために必要な、統計学の基礎知識を習得するとともに、実際のデータを用いて基本的な分析法を体験的に学習し身につけることができる。		◎	△	◎	◎	○				
データ分析法	スタディスキル	3~4	統計データのより詳しい分析に必要な多変量解析について、基本的な考え方や計量モデルを学び、実際のデータを用いて多様な分析法を習得できる。		◎	△	◎	◎	◎				
キャリアデザイン	スタディスキル	1~4	コミュニティ政策の諸領域に即した実践者を招き、大学の学びと社会に於ける実践、キャリア形成をどのように積み上げるかに関して実践的な論議を行う。	○	○	◎	○						
政策分析のメソドロジー	スタディスキル	2~4	政府の統計データや官公庁の白書をはじめとするデータを収集し、その分析を行う手法について学ぶ。さらに、分析結果を政策分析に反映する考え方について学ぶ。		◎	○	○	◎	◎	○			
情報処理1	スタディスキル	1~4	情報処理の基本的な考え方や原理原則、及び基礎的パソコン操作、そして実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎								
情報処理2	スタディスキル	1~4	情報処理における「情報発信」の基本的な考え方、効果的な表現、及び実践的なIT活用のノウハウについて修得することができる。		◎								
情報処理3	スタディスキル	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎								
情報処理4	スタディスキル	2~4	本講義では、福祉分野での具体的業務を想定した課題にそって、MS-Windows環境でのソフトウェア・ネットワーク技術を習得することができる。		◎								
異文化スタディ	スタディスキル	1~4	海外の社会問題や社会活動の事例、国内の「内なる異文化」に関する事例に関する知識を修得し、国際的な場で活躍するために必要なコミュニケーション能力を高めることができる。	◎	◎	△	△						◎
グローバル社会で活躍するための英語(コミュニティ政策)	スタディスキル	2~4	海外で働くことを具体的にイメージできることを目的とする。海外で働く職種について理解し、実際に必要な英語によるコミュニケーション能力を修得する。(主として、日本企業の商社、外資系企業など)		◎	○							◎
海外留学・海外インターン英語(コミュニティ政策)	スタディスキル	2~4	海外留学や海外インターンシップを検討している人に対して、その準備を行う。コミュニティ政策の分野を学べる海外の大学の紹介とその準備のために必要な英語を修得する。		◎	○	△						◎
英語で学ぶコミュニティ政策	スタディスキル	2~4	コミュニティ政策に関するトピックスを英語で学び、修得した知識を元に、コミュニティ政策に関する自分の意見を伝えることができる。	◎	◎		△			○			◎
現代コミュニティ福祉学特別講義(コミュニティ政策)	スタディスキル	2~4	社会福祉やコミュニティ政策の分野についてグローバルな視点から各分野の最前線のトピックについて理解できる。	◎	◎		△			○			◎
英語で学ぶ社会問題	スタディスキル	2~4	国内外の様々な社会問題についての知識を修得するとともに、グローバルな視点から分析することができる。	○	◎		△	△		○			◎
コミュニティ福祉とキリスト教	専門基礎	1~4	ユダヤ教とキリスト教の伝統を事例にとりあげ、人間観とコミュニティ理念の形成に宗教が果たした役割を考察することができる。	◎	○	○	△		△	○			

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)								
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状の課題を当事者の視点から考え、実証的な社会調査に基づき分析する	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方法を構築・提案・実践する能力	7) 「コミュニティ学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各専門的課題を探究できる	8) 「政策学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる	9) グローバルな視野から社会問題を分析する
少子高齢社会論	専門基礎	1~4	わが国における少子高齢化による人口構造の変化が全体社会に与える影響について学び、家族と地域社会における問題と社会的対応について考察することができる。	○	◎	△	○	△	○	○		
国際NGO論	専門基礎	1~4	グローバル社会における貧困問題を解決するために、草の根レベルでの活動を展開している国際NGOの理念と活動実態、また、国際NGOの役割について理解を深めることができる。	◎	○	◎	○	○	○	○		◎
現代コミュニティ論	専門基礎	1~4	コミュニティ論の基礎理論に関する系統的な知識を習得し、現代社会の諸問題をコミュニティ論の視点から分析する能力を身につけることができる。	◎	◎		△	○	○	○		
貧困と格差	専門基礎	1~4	貧困問題や格差社会が生じる背景や要因について多角的に分析する能力を身につけると同時に、貧困対策や格差社会を解消していくための理念や方法等について他者に説明できる。	◎	◎			○	◎	○		
コミュニティ・ビジネス	専門基礎	1~4	コミュニティ・ビジネスの議論が盛んになってきている背景や実態を学習し、このような取組の現代的、歴史的な意義を理解することができる。	○	◎	○	△		○	○		
持続可能な福祉コミュニティ	専門基礎	1~4	福祉の充実と環境負荷軽減の両立の必要と困難を理解し、この両立を目指す一つの手法として様々なコミュニティレベルでの実践の現状、課題、可能性について学ぶことができる。	◎	△	△	○	△	◎	○		
社会問題の社会学	専門基礎	1~4	社会問題についての社会学的な捉え方を学び、現代社会における様々な問題への感受性を養って、各自が関心のある社会問題を社会学的に考察することができる。	◎	◎		○	◎	◎	○		
福祉社会学	専門基礎	1~4	福祉社会学の基礎的な概念を学び、現代社会における福祉の意義と課題を理解して、これからの福祉社会を展望するために必要な能力を得ることができる。	◎	◎			△	○	○		
地域学への招待	専門基礎	1~4	立教大学新座キャンパスが立地する新座地域について、歴史的・地理的・文化的な基礎知識を修得し、具体的な地域活動へ参加の動機づけができる。	○	◎	○	○	○	○	○		
フィールドワーク入門	専門基礎	1~4	現地調査(フィールドワーク)の基本的な技法を修得し、事前調査および観察調査、フィールドノート作成、質的コーディングによる問題の発見を、適切に行うことができる。		◎	◎	○	○	○	○		
公共空間論	専門基礎	1~4	地域の様々な資源を活用・リノベーションして公共空間を再創造することに関わる理論や思想、歴史、手法、事例についての知識を得ることができる。	○	◎	△	○		○	○		
コミュニティ開発論	専門基礎	1~4	NPOの重要な社会的機能であるコミュニティ開発に関して、居場所づくり、サード・プレイス論、アセットを基盤とするコミュニティ開発等を幅広く理解することができる。	○	◎	○	○	△	○	○		
地方自治論	専門基礎	1~4	この授業では、日本の地方行政の基本的な仕組みを理解し、今日の自治体の現状と課題に触れながら、これからの自治体はどうあるべきかを考察することができる。	○	◎	△	○	△	△	○		
政策学の基礎知識	専門基礎	1~4	コミュニティ政策学の基礎となるべき経済学、政治学、法学、社会学等社会科学の知見を学び、それらを通じて現代社会の置かれた状況の諸相を学ぶことができる。	○	◎	△	○	△	△	○		
経営組織論	専門基礎	1~4	NPOや社会的企業を含む社会組織の経営のあり方を具体的な実践事例から理解し、社会問題の解決に向けた組織の設立・経営に何が必要であるかを考えることができる。	○	◎		△	△	○	○		
コミュニティ人間形成論	専門基礎	1~4	誕生した生命が家庭や地域社会で保護と教育を受けながら社会的存在へと成長していく営みについて、我が国の現状と課題、可能性を考察することができる。	◎	○	△		△	△	○		
ボランティア・NPO論	専門基礎	1~4	ボランティア活動の可能性と課題について理解し、かつ、NPOや協同組合等の組織形態に関して理解することができる。	○	◎	○	○	△	○	○		
若者政策	専門基礎	1~4	複雑化する現代社会において、若者が直面する仕事や家族をめぐる課題を理解し、若者が主体的に意思決定の仕組みに参加・参画するための方策を学ぶ。	○	◎	○	○	△	○	○		
日本近現代史	専門基礎	1~4	明治維新以降の日本の社会・政治・経済がどのように変遷してきたかを歴史学の視点で学び、社会問題や政策制度の歴史的背景を読み解き方方法を身につける。	○	◎		△		○	○		
地域社会と法	専門基礎	1~4	地域社会の課題や争いを法律というツールを用いて解決するための基礎的な視座を身につける。	○	◎	△	○	△	○	○		
地域社会と経済	専門基礎	1~4	景気、雇用、人口、産業、所得などに関する経済学の基礎理論と基本的な経済指標の概要を学び、社会問題と経済環境との因果関係を分析する視点を身につける。	○	◎		◎	○	◎	○		
地域社会と政治	専門基礎	1~4	政治学における基礎的な概念・理論・制度を理解した上で、政治・社会問題を具体的な事例に即して分析し、それらに対する自分の立場を論理的に説明できるようになる。	○	◎	△	○	△	○	○		
地域社会と労働	専門基礎	1~4	拡大する格差に対し、地方自治体も、雇用労働政策や福祉政策を通じ、あるいは入札改革を通じ、また公務員を雇用する事業主として、様々な格差解消政策を実施できることを学ぶ。	○	◎	△	○	△	◎	○		
現代キリスト教人間学	専門応用(コミ)	2~4	現代社会において様々な理由によって自己を喪失して行く個とパートナーシップを欠如して行く個に対してキリスト教はどう応えているのかを考察することができる。	○		◎				◎		
いのちの倫理学	専門応用(コミ)	2~4	学生は、現代社会における「生活」、「生命」、「いのち」をめぐる諸問題について資料に基づきながら現状に対する理解を深め、自分の意見を形成することができる。	◎	◎	△	△			◎		
生活困窮者支援	専門応用(コミ)	2~4	生活困窮者の生活問題の背景要因や特徴に関する知識を習得し、その生活問題に対応する国や地方自治体、民間団体の実践事例に学びながら、解決の方策について提案できる。	○	◎	△	○	△	△	◎		
日本の文化とコミュニティ	専門応用(コミ)	2~4	日本の古来もしくはプレモダンの共同体のあり方や特徴、民衆の生活文化や習慣を理解し、近現代もしくは西洋的コミュニティを相対化する視点を身につけることができる。	◎	○			○	○	◎		
公共哲学	専門応用(コミ)	2~4	公共哲学の「入門」から「応用編」まで学び、他者との共存の作法を模索する公共哲学の原理、公共の歴史について理解を深めることができる。	◎	◎		△			◎		
コミュニティと福祉	専門応用(コミ)	2~4	コミュニティに特有の生活課題やそれに対応する行政と民間団体の取り組み事例に関する知識を習得し、コミュニティにおける福祉を向上するための方策について提起できる。	◎	○	△			○	◎		
まちづくり論	専門応用(コミ)	2~4	まちづくりの方法論や具体的な事例に関する知識を習得し、地域コミュニティ形成の課題や解決策について理解することができる。	○	◎	△	○	○	○	◎		
国際福祉論	専門応用(コミ)	2~4	国際的な視野から、人間のウェルビーイング実現について学ぶことができる。貧困や紛争の発生要因について思考し、私たちの生活とのつながりについて学ぶことができる。	◎	◎	○	○	○	○	◎		
社会開発論	専門応用(コミ)	2~4	貧困の発生要因を理解することができる。経済成長重視の開発を見直す中で台頭してきた「社会開発」の重要性について理解を深めることができる。	◎	◎	○	○	○	○	◎		
Global Society and Local Communities	専門応用(コミ)	2~4	英語による授業を通じ、グローバルな社会構造がもたらす問題と地域問題との関連について理解することができる。	○	◎	△	△	○	○	◎		◎
都市と地域	専門応用(コミ)	2~4	都市社会学および地域社会学の基礎的な概念と応用的な理論を概観し、具体的な地域の問題をグローバルな社会構造のなかに位置づけ、分析することができる。	○	◎	△	○	○	○	◎		△
シェアライフ論	専門応用(コミ)	2~4	ビジネスモデルとしてのシェアに留まらないシェアの現代的意義について、シェアに関する理論や思想、求められる背景、事例を通じて考えることができる。	○	◎	△	○		○	◎		
社会運動論	専門応用(コミ)	2~4	社会運動という現象を捉えるための社会学的な理論と方法を学び、社会運動の歴史と多様な事例を理解して、具体的な社会運動を分析することができる。	○	◎	△	○	○	◎	◎		
いのちの尊厳とジェンダー	専門応用(コミ)	2~4	ジェンダーやセクシュアリティについて、事例のみならず、概念や構造、理論や思想という観点から理解し、自分なりの問題意識を持つことができる。	◎	◎	△	△		△	◎		
差別論	専門応用(コミ)	2~4	差別とは何か、なぜ起こるのか、何が問題であるのかについて、事例のみならず、歴史やそれが起こる構造といった観点をふまえて考えることができる。	◎	◎	△				◎		
地球コミュニティ論	専門応用(コミ)	2~4	社会の様々な位相で進行するグローバル化の歴史と構造について理解し、グローバルな社会問題やその解決に向けたグローバルな市民社会での連帯についての知識を修得する。	○	◎		△	△	△	◎		◎
家族社会学	専門応用(コミ)	3~4	家族関係や家族と社会の関係を読み解くための基礎を学ぶこととおして、誰もがもっている家族についての「常識」を相対化することができる。	○	◎		○			◎		

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)								
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、学目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状の課題を当事者の視点から考え、実証的な社会調査に基づき分析する	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方法を構想・提案・実践する能力	7) 「コミュニティ学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各専門的課題を探究できる	8) 「政策学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる	9) グローバルな視野から社会問題を分析する
コミュニティ心理学	専門応用(コミ)	3~4	問題を個人に還元せず、環境や社会とのつながりを重視するコミュニティ心理学の特徴を知り、地域支援のあり方やサポートの具体的な諸相について理解することができる。	○	◎	△	○			◎		
国際平和論	専門応用(コミ)	3~4	戦争や暴力のない社会が実現するために必要な思想や理論、活動についての知識を得て、グローバルな視野から平和構築の可能性を具体的な事例を通じて考えることができる。	◎	◎	△	○		○	◎		◎
ファンリレーション論	専門応用(コミ)	3~4	コミュニティやグループの合意形成と協働を促すファンリレーションの技術を習得し、自身で実際にファンリレーションを企画・実施できるようになる。	○	△	△			◎	◎		
比較宗教学	専門応用(コミ)	3~4	世界宗教および各地域の諸宗教についての基本的な知識を修得し、グローバルな比較の観点から現代社会における宗教の機能や意義について考えることができる。	○	◎					◎		○
アートとコミュニティ	専門応用(コミ)	3~4	文化やアートの本質と、それに関連する知識を習得し、文化的資源を利用してコミュニティを活性化事例や手法について理解を深めることができる。	○	◎	○	○		○	◎		
現代生活学	専門応用(コミ)	3~4	生活を対象化する際に、自然科学や経済学とは相違するアプローチがあることを理解し、生活文化という観点から現代社会の課題を考えることができる。	○	◎	△				◎		
国際経済論	専門応用(コミ)	3~4	国際経済の歴史と理論を学び、金融危機、資源エネルギー問題や国際経済の制度的枠組み(国際通貨制度やWTO等)についての理解を深めることができる。	○	◎	△	○	△	△	◎		◎
国際移動論	専門応用(コミ)	3~4	モビリティの観点から、グローバリゼーション、国民国家、国際労働力移動、ナショナルイデオロギイ、エスニシティといった概念についての知識を修得し、具体的な事例と結びつけて考察することができる。	○	◎			△	△	◎		◎
多文化共生論	専門応用(コミ)	3~4	多言語・多文化化する社会の現状について理解し、異なる他者を排除するのではなく、生活者という位置づけのもとでの包摂的な社会構築に向けた課題を探ることができる。	◎	◎	△	○	○	◎	◎		◎
自然災害論	専門応用(コミ)	3~4	自然の異常発生メカニズムと災害にいたるプロセス、過去の災害の教訓や地域レベルの防災対策などを学び、災害リスクを減らすための知識を修得する。	○	◎	△	○	○	○	◎		
村落社会論	専門応用(コミ)	3~4	社会学・経済学・民俗学・生活学など村落社会研究の基礎的な概念を学び、農山漁村の社会・経済構造、歴史、文化を理解して、村落社会を取り巻く現状を分析できるようになる。	○	◎	△		○		◎		
地域交通論	専門応用(コミ)	3~4	交通というインフラの側面から地域を考え、地域活性化や地域問題解決における交通の重要性や課題、地域と交通の関係性を様々な事例を通じて理解することができる。	○	◎	△	△	◎	○	◎		
現代環境論	専門応用(コミ)	3~4	環境社会学および隣接領域の諸理論を学び、現代の日本と世界をとりまく環境の急激な変化を理解して、自らが生活する地域社会の環境条件や環境問題について意識して行動できるようになる。	○	◎	△	○	○	○	◎		
地域地理学	専門応用(コミ)	3~4	地域地理学の基本的な概念および研究法を学び、地理学において様々なスケールの地域をどう記述し説明するのかを理解して、地誌を作成する基礎能力を修得する。	○	◎	○	○	◎		◎		
ファンドレイジング論	専門応用(コミ)	3~4	非営利組織の資金調達であるファンドレイジングについて体系的に学び、組織の成長戦略、寄付・会費・助成金を得るための戦略やスキルを理解して、社会課題解決を担う知識と実践能力を修得する。	○	◎	◎	◎	○	◎	◎		
インターンシップ	専門応用(コミ)	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○
コミュニティ学演習2A	専門応用(コミ)	4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、高度な専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	○	○	○	◎	◎	◎	◎		○
コミュニティ学演習2B	専門応用(コミ)	4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、高度な専門的知識の取得とともに、課題を探究し、その成果を踏まえて学術論文を作成することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	◎		○
卒業論文	専門応用(コミ)	4	教員の専攻領域に関わる知見と経験に富む指導のもと、各自の専門的な問題関心を探究し、その理論的・社会的意義を踏まえて学術論文を作成することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	◎		○
地方財政論	専門応用(政策)	2~4	福祉国家における中央政府と地方政府の相互の役割分担と地方政府の活動を担保する財政制度のあり方を理解したうえで、地方自治体の財政状況を分析する視点を身に着ける。	◎	◎		○	○	○		◎	
福祉経済学	専門応用(政策)	2~4	格差社会における生活問題を経済学の視点で読み解き、その解決に向けた広義の福祉政策の役割と政策課題を批判的に分析する視点を身に着ける。	◎	◎		○	○	◎		◎	
行政学	専門応用(政策)	2~4	行政の理論と実際を学ぶことができ、教養人としてふさわしい行政の知識のみならず公務員試験にも対応できる知識も身につけることができる。	◎	◎	△	◎	○	◎		◎	
政策過程論	専門応用(政策)	2~4	様々な公共的課題がどのように公共政策として取り上げられ、設計され、決定されて実施されるのかについて理論的な視座と具体事例から考察することができる。	○	◎	△	○	△	△		◎	
市民教育論	専門応用(政策)	2~4	近年の教育政策の動向とその背景について理解を深め、実際の教育政策提言を批判的に検討できる。	○	◎	△	○	△	○		◎	
自治体政策論	専門応用(政策)	2~4	地方自治体による政策の立案・実施について、その制度的な枠組みと運営手法について理解することができる。	○	◎	△	○	○	○		◎	
福祉政治学	専門応用(政策)	2~4	福祉国家の形成・縮減・再編について、政治学・比較政治学の理論を体系的に学び、マクロな視点から先進民主主義国の雇用政策・社会保障政策を比較考察することができる。	○	◎	△	△	△	◎		◎	
パートナーシップ論	専門応用(政策)	2~4	さまざまな社会問題・地域課題に対応したパートナーシップの現状・課題と可能性について理解を深めることができる。	◎	○	○			○		◎	
社会的連帯経済論	専門応用(政策)	2~4	今日の新自由主義的な資本主義経済に対するオルタナティブとしての社会的連帯経済に関する理論ならびに国際的な事例等を包括的に理解することができる。	○	◎	△	○	△	○		◎	
政策評価論	専門応用(政策)	2~4	公共政策を評価する際に重要なプログラム評価の方法について理解し、コミュニティ政策に関する具体的に評価する視点を獲得できる。	○	◎	○	○	◎			◎	
コミュニティ・オーガナイズング論	専門応用(政策)	2~4	社会変革のために関係性の構築を通してパワーを拡大するコミュニティ・オーガナイズングの基本的な手法について利器できる。	○	◎	○	◎	○	◎		◎	
オンブズマンと市民参加	専門応用(政策)	2~4	オンブズマン制度や市民参加への理解を深め、政府(自治体)や公共サービスの創造に関わっていけるような素養の涵養を目標とする。	○	◎	○	○	○	○		◎	
サービスラーニング論	専門応用(政策)	2~4	地域社会の諸課題の構造や解決手法に関する座学での学び(知識・技能)を実際の地域社会に生かすとともに、現場の活動から得られる示唆を座学での学びにフィードバックする思考を身につけることができる。	◎	○	○	○	○	○		◎	
政策法務	専門応用(政策)	2~4	法令の解釈運用、条例等の改正や制定、訴訟等の法務活動を通じ、住民が抱える課題を解決するための自治体法務政策について学び、法の適用や自治体条例の定め方などについて考察する。	○	◎	△	○	△	△		◎	
地方自治法	専門応用(政策)	2~4	地方自治の基本的枠組みを定めている地方自治法を参照しながら、地方自治体と住民をめぐる法的問題について学ぶ。そして問題の解決に向けて積極的に取り組むことができる能力を身につける。	○	◎	△	○	△	△		◎	
Introduction to Local Governance	専門応用(政策)	2~4	地方自治の基本的な理念や実践上の課題、国際的な動向を具体的な事例を踏まえながら英語で学ぶことで、国際化時代に対応した地方自治のあり方について考える視点を身に着けることができる。	○	◎			△	○		◎	◎
経営戦略論	専門応用(政策)	3~4	コミュニティ活動や組織活動においてミッションを確立することの重要性とその実現に必要なリーダーシップに関する基本的な知識を学び実践に活かすことができる。	○	○	○	◎	○	○		◎	
居住福祉	専門応用(政策)	3~4	日本の戦後の住宅政策の潮流や特徴について理解を深め、並びに現在の居住の貧困問題とそれを解決していくための諸実践について理解することができる。	○	◎	△	○	△	○		◎	
社会教育論	専門応用(政策)	3~4	地域の様々な諸課題に関して、現場で共同で学習し、利害関心や価値観の異なる他者と協働することを可能にする方法について理解することができる。	○	○	△	○	○	○		◎	
NPOマネジメント論	専門応用(政策)	3~4	NPOマネジメントにおけるミッション構築から戦略的計画づくり、マーケティング、評価等まで包括的に理解することができる。	○	○	○	◎	△	○		◎	
社会思想史	専門応用(政策)	3~4	歴史上の著名な思想家が各時代における政治や諸制度に対してどのような分析を行ってきたかを理解し、現代社会を批判的に分析する方法を学ぶ。	○	○			△	○		◎	
マス・コミュニケーション論	専門応用(政策)	3~4	現代社会の民主主義と公共性にとって重要な役割を果たしているマスメディアの役割と課題、メディアを通じた世論喚起の方法を包括的に理解することができる。	○	○	○	○	◎	○		◎	◎
現代資本主義論	専門応用(政策)	3~4	政治経済学の視点から資本主義の発展過程と資本主義経済が政治・社会に与える影響を学び、現代の社会問題を経済社会構造の一部として理解することができる。	○	○		△	○	◎		◎	
ジェンダー政策論	専門応用(政策)	3~4	現代社会におけるジェンダー不平等や性差別について学び、そうした状況を変化させるための国内・海外の政策的な取り組みについて理解することができる。	○	◎	○	◎	○	◎		◎	

コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科(課程)のカリキュラム				コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科の学修成果との関連 (◎=強く関連、○=関連、△=やや関連)								
科目名	科目区分	配当年次	科目の学修成果	1) 学部理念、目的の習得	2) 知識・技術の習得	3) 現場に立った実地学習の習熟	4) 実践能力と研究能力の統合	5) 現状の課題を当事者の視点から考え、実証的な社会調査に基づき分析する	6) 意図的・計画的に現状に変化をもたらす手段や方策を構想・提案・実践する能力	7) 「コミュニティ学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各専門的課題を探究できる	8) 「政策学」を構成する教育研究領域の知識を踏まえ、各自の専門的課題を探究できる	9) グローバルな視野から社会問題を分析する
契約と法	専門応用(政策)	3~4	契約の成立・要件・主体にかかわる民法総則や契約総論について、判例・学説をもとに理解する知識を身につけることができる。	△	◎	○	○	△	○		◎	
地域経営論	専門応用(政策)	3~4	地域住民の生活安定と地域社会の発展を目的とした行政による公共サービス、企業による営利・非営利活動の役割を理解し、地域課題解決に向けた協働のあり方を構想することができる。	◎	○	△	◎	△	◎		◎	
都市計画論	専門応用(政策)	3~4	都市の成立・発展の変遷とそれに対応した都市計画に関する諸制度・計画の学習を通じて、都市計画の運用をめぐる実態や課題への理解を深める。	○	◎	○	○	○	○		◎	
比較政治経済	専門応用(政策)	3~4	グローバル化が進む現代社会における、国家と市場の相互関係の基本的な考え方や概念を理解することができる。	○	◎	△	○	△	○		◎	
インターンシップ	専門応用(政策)	3~4	学生は、実習(就労)体験を通じて、社会問題への理解と関心を深めるとともに、将来の職業選択に関してリアルなイメージを描くことができる。	○	○	◎	◎	○	◎	○	◎	
政策学演習2A	専門応用(政策)	4	教員の専攻領域に関する知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、高度な専門的知識の取得とともに、課題を探究する。	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	
政策学演習2B	専門応用(政策)	4	教員の専攻領域に関する知見と経験に富む指導のもと、学友と問題意識を共有し、高度な専門的知識の取得とともに、課題を探究し、その成果を踏まえて学術論文を作成することができる。	○	○	○	◎	◎	◎	○	◎	
卒業論文	専門応用(政策)	4	教員の専攻領域に関する知見と経験に富む指導のもと、各自の専門的な問題関心を探究し、その理論的・社会的意義を踏まえて学術論文を作成することができる。		○	○	◎	◎	◎	○	◎	
社会学1	専門関連	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○	○			○		△	○	○
社会学2	専門関連	1~4	社会学の基本的な概念や思考方法学、現代社会を把握する視点を獲得することができる。	○	○			○		△	◎	○
心理学1	専門関連	1~4	ひとの一生の軌跡を、生涯発達心理学の視点から考察することができる。	○	○					△	◎	○
心理学2	専門関連	1~4	現代のわが国における子ども・家族の心理臨床的諸問題について考えることができる。	○	○	△				△	◎	○
法学1	専門関連	1~4	国の最高法規である憲法について理解する。福祉士国家試験や公務員試験を中心に、日常生活にも対応できる内容を目指すことができる。	○	○			△				
法学2	専門関連	1~4	民法を中心に権利擁護制度について理解する。成年後見制度や消費者保護、虐待防止関係の法制度を概観し、福祉士国家試験や日常生活に対応することができる。	○	○			△				
政治学	専門関連	1~4	映画を題材にしながら、政治学が扱ってきたテーマを学ぶとともに、政治学の考え方や基本概念を理解し、直面している問題について政治学の視点から考えることができる。	○	○			△				
経済学	専門関連	1~4	日常生活における人間の行動と世の中の幸せを理解するのに役立つ経済学的な考え方を身につけることができる。	○	○			△				
生涯学習概論1	専門関連	1~4	生涯学習概念を社会教育との関連で把握すること、多様な学習機会に注目することによって生涯学習概念を具体的に捉えていくことができる。		◎			△			○	
生涯学習概論2	専門関連	1~4	生涯学習概念の基礎的理解を前提として、社会的要請にもとづく生涯学習を具体的に理解していくことができる。		◎	△		△			○	
生涯学習支援論1	専門関連	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△			○	
生涯学習支援論2	専門関連	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△			○	
社会教育経営論1	専門関連	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△				
社会教育経営論2	専門関連	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△				
生涯学習支援論1	専門関連	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△				
生涯学習支援論2	専門関連	1~4	生涯学習者を育む学習支援の理論を学び、学習プログラムづくりのプロセスデザインを体験することで、学習支援者に求められる実践力の基盤を形成することができる。		◎	○		△				
社会教育経営論1	専門関連	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△				
社会教育経営論2	専門関連	1~4	地域づくりを支える社会教育の姿を「経営」の視点から概観することで、社会教育に期待される担い手づくりとコーディネート機能について理解を深めることができる。		◎	○		△				